

■事例紹介

1. 実施企業名:日本郵便株式会社
2. 担当コーチ:中川雅章(シナジー・クリエイションズ)
三野直子(大津病院) 安田吉歩(株式会社ビーイング)の3名
3. 実施期間:4ヵ月(事前インタビュー3月22日からセッション1~3終了7月25日)
4. 実施人数:11名(3つの郵便局:局長3名 社員8名)
川西加茂二郵便局、宝塚すみれが丘郵便局、三田武庫が丘郵便局
5. 実施目的:社風改革方針と連動した現場力向上による相乗効果への期待。
日本郵便株式会社の社風改革の基本的な考え方を実践するため。
「JPスタイルの実現:社員ひとり一人がプライド、お客様視点、主体性を持ち、トライする組織への変容」

| | |
|---|----------------------------------|
| <h1>JPスタイル</h1> <p>社風改革の基本的な考え</p> | |
| <p>社員一人ひとりが プライド(誇り) お客様視点 主体性を持ち トライ(挑戦)する</p> | |
| <p>P プライド (誇り)</p> | <p>O お客様 視点</p> |
| <p>S 主体性</p> | <p>T トライ (挑戦)</p> |
| <p>JP 日本郵政グループ</p> | |

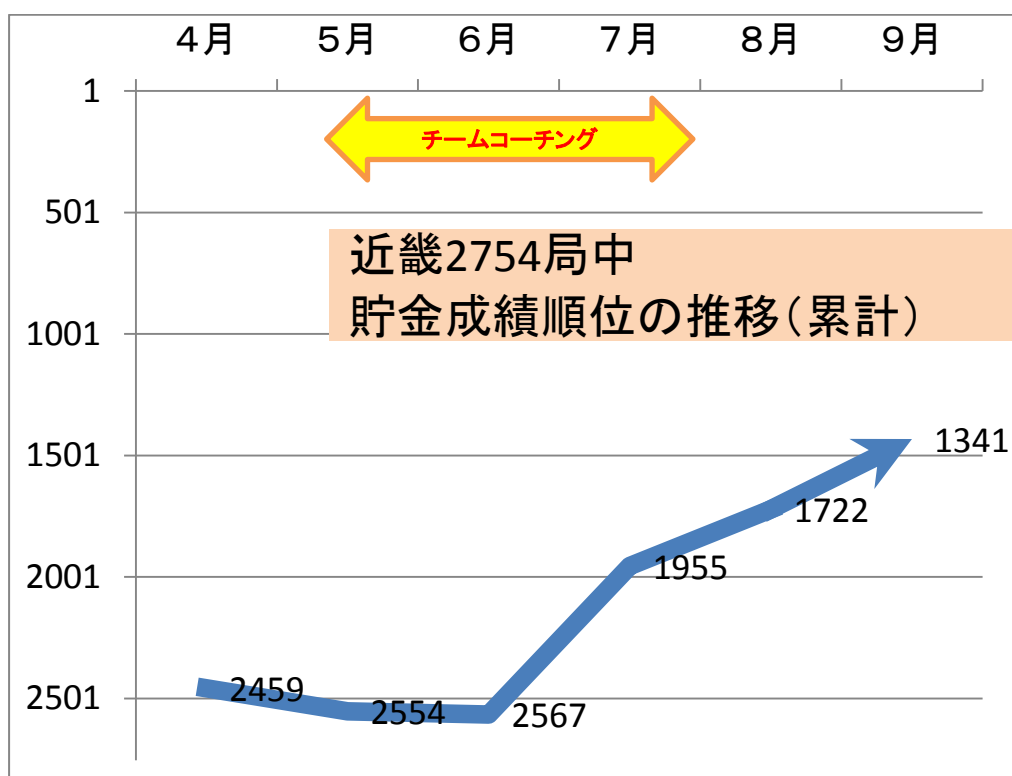
P プライド (誇り) 仕事の目的・意味等を理解し、自分が役に立っていることを実感できると、誇りを感じることができます。

O お客様視点 お客様に喜ばれ、満足していただくために、お客様が何を必要としているのかを考え、行動することです。

S 主体性 当事者意識を持って、自分で考え、行動することです。

T トライ (挑戦) 良いと思ったら(意識改革)、やってみる(行動改革)ことです。

6. 成果:業績向上 & 目的の実現
セッションを開始した5月末時点での総合順位(近畿エリアの郵便局2754局中)は、A局は2464位、B局は2459位、C局は1473位でした。それが、わずか3ヶ月後の10月末には、A局とB局は1000番も順位を上げ1500位前後にまで躍進。更にそれから5ヵ月後の年度末2016年3月31日には、A局は2464位⇒815位に、B局は2459位⇒919位に、C局は1473位⇒918位へと大躍進。同じメンバーでありながら、短期間でこれほどの違いを生み出す精鋭チームへと生まれ変わりました。社風改革の基本的な考え方、「JPスタイル」の好事例となっています。



7. 顧客の感想、トピックス

- ① 本社人材育成室から注目され取材インタビューを受ける。管理署者向け教材として使用する社内研修用DVDになる予定。
- ② 新入社員がイキイキと活躍し、摂丹地区内の新入社員 20 名中トップの実績を上げている。
- ③ 成功体験を自分たちで創り上げたことが自信が基盤となって、新しい年度に入ってもチームのメンバーとして主体的に目標達成に関わっている。チームのメンバーからは「これから先もこのチームで納得出来るところまでやり切りたいです。」との前向きな発言が出ている。

